

和歌山病院の実習を終えて



宮本 真衣

呼吸器内科のポリクリの一環として和歌山病院にて2日間実習をさせていただきました。

1回生の頃アーリーエクスプロージャで一度お世話になりました。あれから4年が経ち、新しく病棟が新設されていて明るくとても雰囲気の良い印象を受けました。二日間にも満たない短い時間でしたが、先生方は非常に密の濃い講義を下さりました。結核病棟をもつことを特徴とする和歌山病院で、駿田副院長は結核菌の詳しい内容、陰圧・陽圧を利用した病棟の工夫、結核菌の感染機構にちなんだ臨床現場での医療人の感染対策など、実際に病棟を歩き回りながら説明してくださりました。今や治療可能な病気と言われている結核ですが、これらの手厚い医療現場の工夫があってこそなのだと実感しました。

また、呼吸器の講義では呼吸器を実際に触れ、装着し、患者さんがどれほどの負担をうけているかを知り、大変ためになりました。

また、南方病院長の講義も非常に興味深く、楽しんで学習することを体感しました。胸部X線の読影はもちろん医師になる者として避けては通れないものですが、深く理解しようとするのは難しそうで腰の重くなるものでもあります。南方病院長は至ってシンプルで簡潔な質問と説明でX線写真を説明してくださり、理解して学ぶ楽しさと理解することが知識を得る過程で一番よい方法であることを講義を通して実演してくださりました。

先生方の活気強く楽しい講義や、私たちのような未来の医療を担うことになる者への熱い働きかけで、先生方との触れ合いだけでモチベーションが上がりました。

また、私たちとの交流の場を設けて下さりありがとうございました。とても楽しかったです。和歌山病院の皆さま、お忙しい中私たちのために時間を割いてくださりありがとうございました。